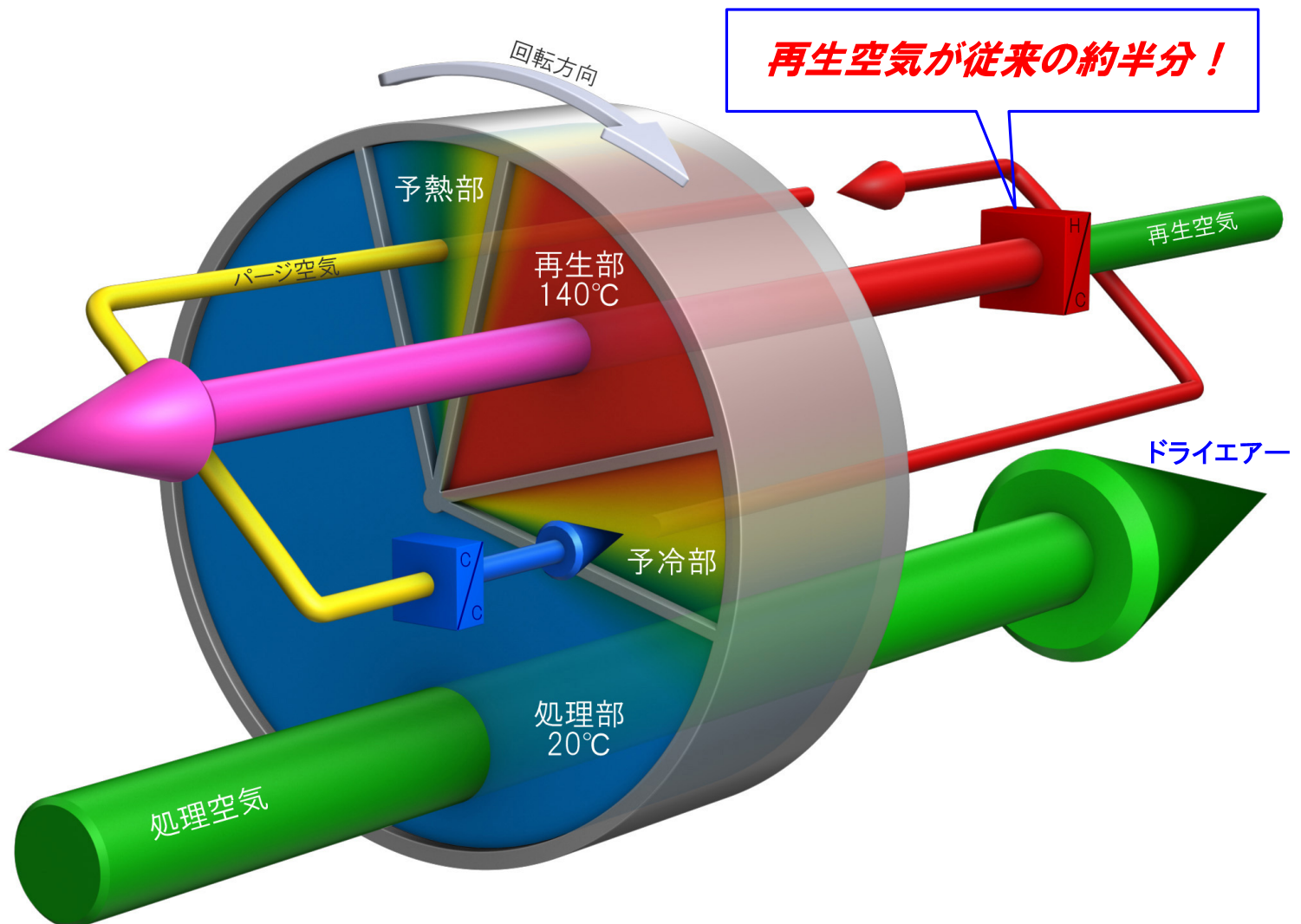


ドライエアーを半分のエネルギーで！

(リチウムイオン電池製造環境対応)

RECODRY II (Ryowa ECOlogical DRY system II) (レコドライ2)



回転ハニカムロータ型除湿装置において再生部から処理部への予冷（予冷部）と処理部から再生部への予熱（予熱部）エネルギーを相互利用します。これにより再生空気量が従来比約 **50%ダウン** となり、消費エネルギー量を半減することが可能です。

給気露点温度-51℃のシステム試算例

温湿度条件	温度(℃)	露点温度(℃)
室内	24.0	-40.0
給気	20.0	-51.0
外気(夏期)	35.6	26.4
外気(冬期)	-0.3	-9.7

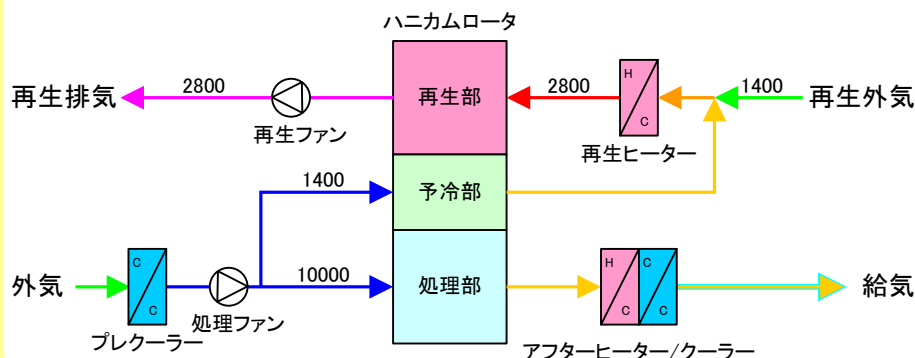
室内負荷	顕熱	13.0kW
	発生水分量	700g/h

風量 (m³/h)	処理空気	10,000
	排気+陽圧	2,000

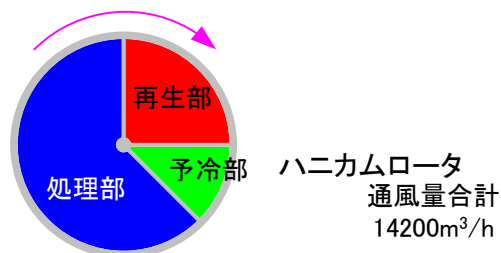
電力料金	13.75 円/kWh	7~9月
	12.65 円/kWh	上記以外

※東京地方における各月の平均気温により年間の消費エネルギーを算出しています。

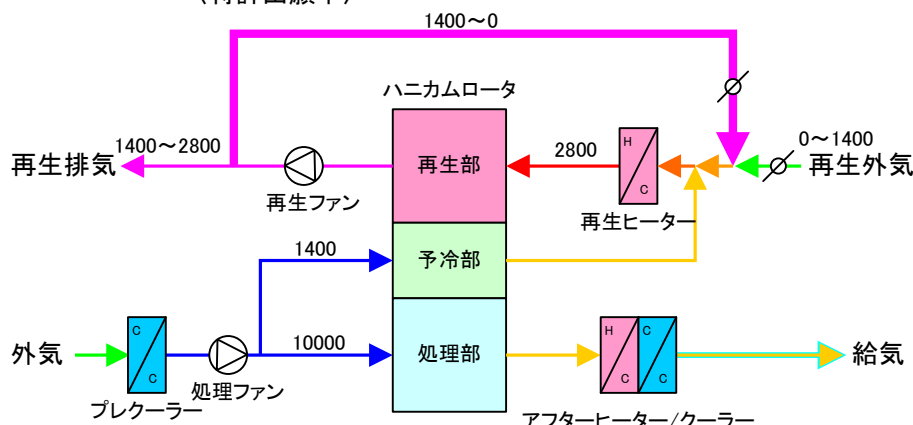
従来システム



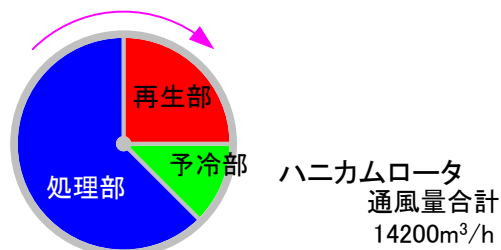
イニシャルコスト	30 百万円	100
年間ランニングコスト (690,000kWh/年)	890 万円	100



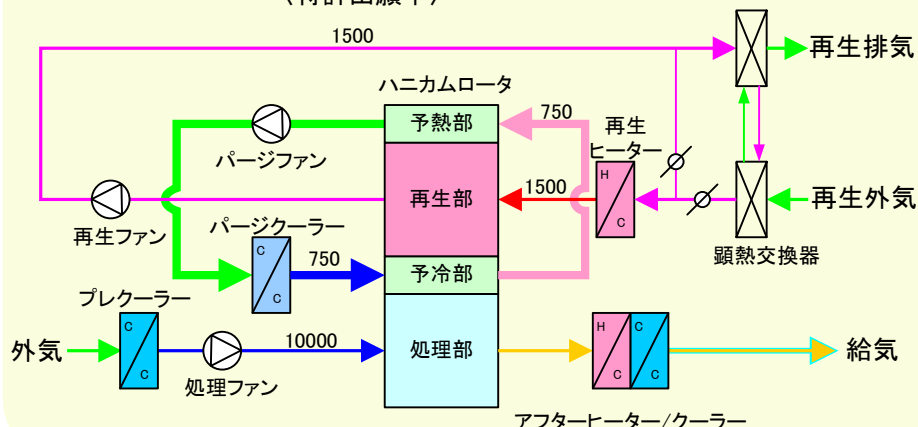
RECODRYシステム (特許出願中)



イニシャルコスト	31 百万円	104
年間ランニングコスト (500,000kWh/年)	650 万円	73
単純償却年数	0.5年	



RECODRY II システム (特許出願中)



イニシャルコスト	35 百万円	117
年間ランニングコスト (360,000kWh/年)	460 万円	52
単純償却年数	1.2年	

従来システムを100とした指標

